



君と僕 互いの力生かし合う
共同参画パートナー

登別市男女共同参画情報紙

No.17

～性別や年齢の違いを超えて、男女が平等に
そして、自分らしく生きていくために～

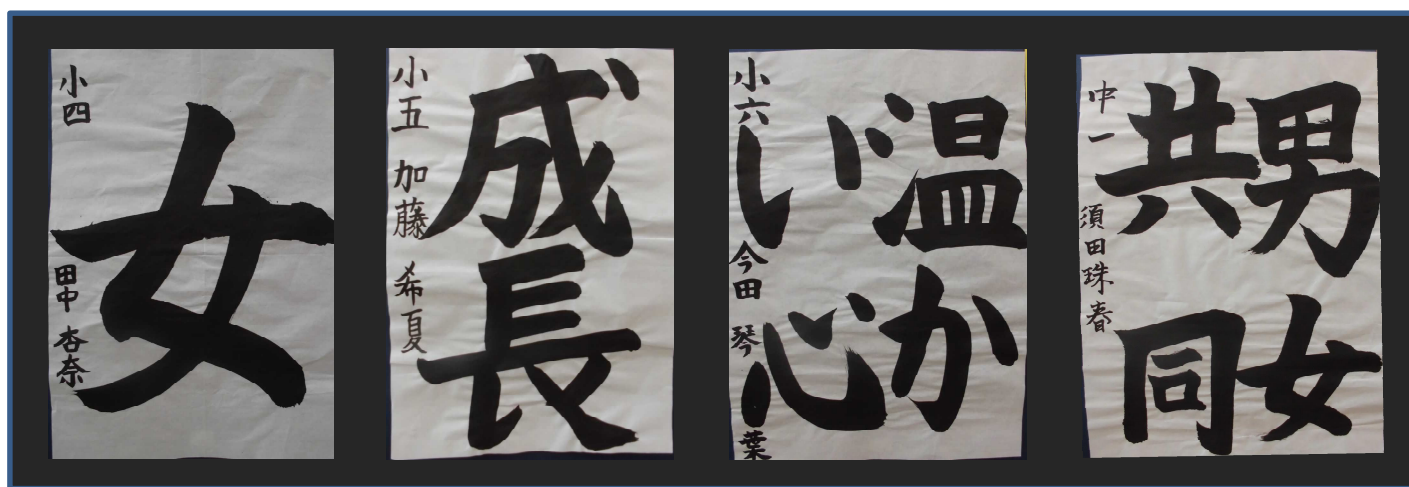
男女共同参画社会に向けた作品展

登別市では、男女共同参画社会について家庭や学校、職場、地域で考えるきっかけとしてもらうため、標語や習字、ポスターなどで男女共同参画社会のイメージを自由に表現した作品を募集し、市民会館に募集作品全てを展示する作品展を開催しています。

1 1回目となる令和2年度は、コロナ禍にも関わらず、市内の小・中・高校生から標語 147 点、習字 889 点、ポスター11 点が寄せられました。

その中から、**習字の最優秀賞作品**を紹介します！

習字テーマ：小学4年生「女」「男」 小学5年生「成長」小学6年生「温かい心」「思いやり」
中学生以上「男女平等」、「男女共同」、「参画社会」、「共同参画」のいずれか



※令和3年度につきましても引き続き作品を募集する予定です。詳細は今後の広報のぼりべつにて周知いたします。

Q そもそも男女共同参画とは??

A. 男女が性別に関わらず、自分の意志で社会のあらゆる分野に参画できる機会が確保されることによって、男女が均等にさまざまな利益を得ることができ、一緒に責任を持って協力しあうことができる社会のことです。



Q 本紙のタイトルであるアンダンテとは??

A. 音楽記号の一つである「アンダンテ」は、「歩くくらいの速さで、ゆっくり演奏」という意味です。男女共同参画の理解や取り組みが「じっくりと自分のペースで進むように」という期待を込め、名付けました。

▼男女共同参画に関連するカタカナ語

最近特によく耳にする「ソーシャルディスタンス」や「クラスター」など、現在日本には多くのカタカナ語が存在します。本紙では、“聞いたことはあるけれども、意味をよく知らない”“なんとなく難しそう”と思っている方も多いかもしれない、男女共同参画に関連するカタカナ語について解説します。

①ジェンダー

ジェンダー (gender) とは、生物学的な性別 (sex) に対して、社会的・文化的につくられる性別のことを指します。世の中の男性と女性の役割の違いによって生まれる性別のことです。たとえば、「料理は女性がやるもの」と考えている人、いますよね？料理＝女のシゴト。男性にも料理上手はいるのに？この性別がジェンダーです。



②パープルリボン

パープルリボンは、女性への暴力 (DV) の根絶を目指す運動の国際的なシンボルマークです。日本では、パープルリボンを身につけたり身近なところに飾る運動や、11月12日～25日の「女性に対する暴力をなくす運動」期間に、パープルリボンにちなんで、さっぽろテレビ塔など全国のタワーを紫色にライトアップする、パープル・ライトアップを実施しています。

パープルリボンや紫にライトアップされたタワーを見て、多くの人に「これは何を意味しているのか」と興味を持ってもらうこと、実際にDVの被害に遭っている人に支援の意思を伝え、勇気を持ってもらうことを目的としています。



↑市で作製したDV相談案内カードも、パープルリボンを意識しており、市内公共施設や病院等に設置しています。

③ワンストップサービス

“ひとつの場所で、様々なサービスが受けられること”という意味です。今回は「登別市が行っている、DV相談のワンストップサービス」について説明します。市のDV相談窓口で勇気を持って相談に来た方の精神的負担を少しでも軽減するため、また、被害者が加害者に遭遇する危険を回避するため、被害者が複数の窓口に出向いて手続きすることなく、プライバシーが守られる相談室において全ての手続を完結するサービスになります。(例：生活保護や児童扶養手当の申請など)

④リプロダクティブ・ヘルス/ライツ

日本語では“性と生殖に関する健康と権利”と訳されます。リプロダクティブ・ヘルスとは、「人が生涯にわたって差別と強制と暴力を受けることなく、性と生殖に関して身体的、精神的、社会的に良質な健康環境にあること」であるとWHO(世界保健機関)において定義されています。

具体的な一例として、“すべてのカップルと個人が、出産する子どもの人数、間隔、時期を、自由に責任を持って決断することができ、そのための情報と手段を持つこと”と言えば想像しやすいでしょうか。

そして、その状態を享受する権利をリプロダクティブ・ライツといいます。

▼小学4年生向け啓発冊子 アンケート結果

登別市では、男女共同参画冊子「あなたらしく、自分らしく！」を小学4年生を対象に配布し、児童にジェンダーチェックを、保護者にアンケート調査を実施しています。集計結果から、抜粋してご紹介します。

●児童向けジェンダーチェック

「リーダーは男子でも女子でもいいと思う」「女のくせに、男のくせに」という言葉はない方がいいと思う」「料理のお手伝いは女子でも男子でもいいと思う」の設問について、いずれも9割以上が「はい」と回答していました。

●保護者アンケート

Q.子育てにおいて、男の子は「男の子らしく」、女の子は「女の子らしく」を意識していますか？ → A. はい 35%

Q2.ご自身は「男だから」「女だから」と育てられましたか？

→ A. はい 46.2%



現代において、男の子らしく、女の子らしく育てることが悪いことというわけではありません。実際に、女の子には女の子らしく柔らかい言葉遣いをしてほしい、男の子には男らしくたくましく育ててほしいという気持ちも理解できると思います。

しかし、自分の子どもが、心と体の性別が一致しない「トランスジェンダー」かもしれないと考えたことはありますか？「その子らしく」生きることを受け入れる心構えも大切です。

▼SDGsについてご存じですか？

●SDGs（エスディージーズ）とは？

日本だけでなく、世界単位で貧困や格差、限りあるエネルギーの枯渇、地球温暖化、感染症などのさまざまな課題に直面しており、このままではこの地球上で安定して暮らし続けることができなくなるという危機感から、2015年の国連サミットにおいて、これらの課題を解決するために2030年までに達成すべき世界の共通目標が定められました。



これが「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals:SDGs）」です。

●男女共同参画×SDGs

17ある目標のうち、「目標5 ジェンダー平等を実現しよう」は正に男女共同参画のテーマです。例えば、日本では2030年までに女性管理職の割合を30%にする目標が掲げられていますが、12%とまだまだ低い状況です（※世界平均27%、地域別では米州が39%と最も高い）。

働くことのできる男女の数に大きな差はなく、女性にも優秀な人材は多くいるにも関わらず、ここまでの差がある原因は何でしょうか。他にも、女性の育休取得率83%に比べ、男性の育休取得率は7.48%と低迷しているなど、ジェンダー平等への課題はたくさんあります。



また、ジェンダー平等（目標5）が進み、性別に関わらず優秀な人材をもっと活かすことができれば、経済成長（目標8）にもつながるように、17ある目標はそれぞれが相互に関連し合っています。

登別市男女共同参画社会づくり推進会議は持続可能な開発目標（SDGs）を推進しています

▼夫婦のあり方について考えたことがありますか？

1. 配偶者の呼び方は？

職場での一場面・・・「うちの家内です」「主人がいつもお世話になっています」

ーこのようなフレーズをよく耳にしませんか？

配偶者の呼称は多く存在しますが、自分の配偶者のことを呼ぶ場合、「夫・妻」が最もオールマイティであり、どのようなシーンであっても問題なく使用できる呼称です。（下記の※表参照）。

しかし、難しいのは第三者の配偶者を呼ぶときです。例えば、「夫さん / 妻さん によろしくお伝えください」など、正しい言葉のはずが、あまりなじみのない表現になってしまいます。また、「パートナー」という言葉もありますが、まだ違和感を感じる方も多くいる現状です。

これらの言葉を、言葉の意味まで深く考えて使っている人は多くはないでしょう。しかし、女性の社会進出が進み、時代の変化とともに、主従関係でもないのに夫のことを「ご主人」と呼ばれたくない、働いているのに「家内」と呼ばれたくない人も増えてきているということを意識してみてはいかかでしょうか。

2. 選択的夫婦別氏制度^{べっしじ}・・・導入すべき？

現在の日本では、結婚するときは夫婦は同じ氏（名字）を名乗らなければならないことが法律で決まっています。選択的夫婦別氏制度とは、夫婦が望む場合には、結婚後も夫婦がそれぞれ結婚前の氏のままでいられる制度であり、近年この制度を導入するか否かの議論がなされています。みなさんは導入に賛成ですか？反対ですか？

メリット・・・（例）運転免許証などの氏の変更の手続きをせずに済む、個人の尊重 など

デメリット・・・（例）子どもの氏をどちらかに決めなければならない など



嫁	自分の息子の妻
女房	貴族の使用人の女性のこと
奥さん	既婚者と見える女性、他人の妻
家内	家の中にいる人
カミさん	商人の妻、その家の女主人
主人	一家の主、自分の仕える人
旦那	お布施をする人(面倒を見てくれる人)、男の得意客
亭主	その家の主

↑※表 配偶者の呼称とその本来の意味

問い合わせ先

登別市市民生活部市民サービスグループ

〒059-8701 登別市中央町6丁目11番地 Tel: 0143(85)2139

FAX: 0143(85)7674 Mail: simin_danjyo@city.noboribetsu.lg.jp

登別市男女共同参画情報紙「アンダンテ」第17号 発行日: 令和3年4月

企画・編集: 登別市男女共同参画社会づくり推進会議 アンダンテ企画・編集委員一同